道しるべ

2015年 春号
vol.74

理念 信頼され愛される病院

社会医療法人 愛生会

http://www.aiseikai-hc.or.jp/

医療は愛生会 検索

トップメッセージ

地域ぐるみのチーム医療

診療科のご紹介

糖尿病内科

腎臓内科

地域ぐるみのチーム医療

社会医療法人　愛生会
理事長　加藤（かとう）　知行（ともゆき）

◆チーム医療の時代

40年以上も前、私がお手伝いに行っていた田舎の診療所では、外科医院でありながら外科以外の病気の患者さんが沢山来ました。聞けばその地域の人は皆、どんな病気になっても先代の時代からその診療所で診てもらっているとのことでした。往診に行くと、そのお宅では家族が集まって食事をしている隣の部屋にお年寄りが寝ていました。別の日の夜に呼ばれて、そのお年寄りのご臨終に立ち合いました。

また、余命数日しかない入院患者さんが、自宅の畳の上で死にたいと言われたので、付き添ってご自宅までお送りしたこともあります。

昔も今も、「死ぬ時は家族に囲まれて、自分の家で最期の時を過ごしたい」というのは多くの人の願望だろうと思います。

以前は、患者さんは地域の医師に自分の健康を任せていました。今は医療が進歩して、以前なら治すことができなかった病気も治すことができるようになった反面、医療の内容は高度かつ専門化してきており、一人の医師ですべての診療をすることは難しくなりました。

21世紀に入って、高度・専門化した医療、患者さん中心の医療を行うために、いくつかの診療科の医師と看護師を始めとした、多くの職種の医療者が共働し、それぞれの専門性を発揮して診療の計画を立て、診断から治療、その後のリハビリテーションなどを役割分担して行う、いわゆるチーム医療の時代となりました。

◆地域で支える医療

今我が国では、少子高齢化、核家族化が進み、以前のように病気になった家族を自宅で介護するということは難しくなりました。一方、国民の医療費は年々増加しており、今までのように病院で治療を完結する医療提供体制を維持することは困難になりつつあります。

地域ごとの人口構成の違いをもとに、この地域にどのような機能を持った医療施設が必要かという地域医療構想の策定と、必要とされる医療を病院で行い、その後は生活している地域で療養を続ける地域包括ケアシステムが示されています。

平成27年度は地域医療構想の策定および、地域包括ケアシステムの構築が始まる年になります。地域が患者さんを支える医療、「地域ぐるみのチーム医療」の始まりです。

社会医療法人愛生会は、この地域の医療の核として活動してまいります。

手術数でわかる いい病院 2015 に掲載

甲状腺手術・網膜硝子体手術の実施件数が全国でもトップクラス

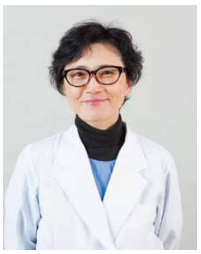
日本全国の病院の手術実績がわかる、週刊朝日MOOK『手術数でわかるいい病院2015』（2015年3月発売）に、総合上飯田第一病院の記事を掲載しました。

これらのリーフレットは、外科・眼科待合に常設してありますので、ぜひ一度ご覧ください。

網膜硝子体手術

20年以上の歴史を持つ網膜硝子体手術への取り組み

目の内部を満たす硝子体や、視神経を持つ網膜には、網膜剥離や硝子体出血、黄斑上膜、黄斑円孔、網膜静脈閉塞症、糖尿病性網膜症など、さまざまな疾患が生じる。それらを治療する硝子体手術を20年以上前から取り組んできたのが総合上飯田第一病院だ。「手術やレーザー治療、薬物療法などを症状に合わせて行ってきました。その結果は必ず眼科全体で振り返り、治療が適切だったのか、改善を要するのは何かを検討しています」と古川真理子眼科部長は語る。



眼科部長 古川 真理子（ふるかわ まりこ）
医学博士。大津赤十字病院、員弁厚生病院勤務などを経て現職。日本眼科学会認定眼科専門医など

こうした診療経験や、活発な論文執筆・学会発表などを通じて培ってきた技術・知識に基づいて、同科では新しい機器や術式を積極的に取り入れ、負担の少ない治療を追求してきた。0・5㍉と細い27ゲージの手術機器もその一例だろう。「器具を通すために粘膜の切開を要した以前と異なり、器具が細くなったことで切開の必要が少なくなりました」と古川眼科部長。結果、術後の縫合が不要になり、出血の抑制や、ゴロゴロ感・乾燥感の防止をもたらすことも可能だ。こうした治療を可能にする、血管や神経の位置などの知識は、一般的に5時間かかる手術を1時間半で終えるなど、時間の短縮も実現させている。

手術室には最新の機器が揃う

「近年、各領域で機能温存や低侵襲が注目されてきましたが、甲状腺の領域では、それを早くから行ってきたのです」と、早期から負担の少ない手術に取り組んできた加藤名誉院長。近年登場が見込まれる最新の抗がん剤に注目するなど、さらなる高度な治療を目指している。

取材／鈴木健太

社会医療法人愛生会
総合上飯田第一病院

20年以上網膜硝子体手術を手がけた経験で行う最新治療の活用や術後フォロー

長期的な視野で適切な術後のフォローを

術後のフォローのもまた同院達は、長期に付き合いしま診ている方も眼科部長。それに再発への対応や、疾患予防や早期治た。また、そこから得られるデータを生かし、長期的な視野で適切な治療を選べる点も患者にとってはありがたいだろう。

同科では、より眼科医療の質を向上させるために研鑽を重ね続けている。複数の大学と連携して知見を得ていることもその一環だ。「『親切・丁寧に』をモットーに、患者さんの相談に親身に応えさせていただきます」と古川眼科部長

ージ

甲状腺疾患の診断と治療

難症例への対応を含めた甲状腺手術を実践

前頸部にある甲状腺は、新陳代謝を促進する甲状腺ホルモンを分泌する臓器だ。甲状腺にはさまざまな疾患が生じるが、その中でも悪性の腫瘍に対しては外科手術が第一選択肢となる。

総合上飯田第一病院の加藤万事名誉院長は、着任以来、常に年間100例以上の手術を手がけてきた医師だ。「愛知県における、この分野を担う病院の集約化や、当院と同じく治療に力を入れている大須診療所との連携が進んだ結果、近年症例数が急増してきました。紹介される症例の中には、30㌢を超す大きさの腫瘍など、一般的に治療が困難なものも数多く含まれています」。胸部にまで広がった腫瘍は、胸骨を切開して取り除くなど、胸部外科の技術を要する難易度の高い手術も行ってきたという。そうした数多くの症例を手がけた結果、口コミや紹介が増え続け、現在では2014年1～10月だけで351例の手術を行うまでに至っている。

治療内容について患者に丁寧に説明していく加藤名誉院長

社会医療法人愛生会
総合上飯田第一病院

甲状腺手術の豊富な経験を生かし低侵襲・機能温存手術を追求

名誉院長兼甲状腺・内分泌センター長
加藤 万事（かとう まこと）
名古屋第一赤十字病院、名古屋大学第一外科勤務などを経て現職。日本外科学会認定外科専門医など

血管・神経の温存や短い手術時間を目指す

「甲状腺の周辺には血管や、声帯の神経、肩を動かす神経などが走っており、傷つけてしまえば出血や各機能への悪影響を引き起こしかねません」として、加藤名誉院長は正確かつ低侵襲な手術を心がけ、「切開を3～4㌢にとどめる」「血管をすぐに見つけて止血する」「顕微鏡下で細かく組織を剥離する」などの処置を緻密に進めていく。神経に密着した腫瘍に対しては、腫瘍ごと切除した後、残された神経をつなげて再生を目指すことも可能だ。こうした治療

社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院
診療体制：内視鏡センター、腎センター、甲状腺・内分泌センター、乳腺センター、人工関節・関節鏡センター、健診センター
診療受付時間（甲状腺・内分泌センター）：火・木 8:30～11:45
水 12:30～16:00
病床数：230床
〒462-0802 愛知県名古屋市北区上飯田北町2-70
TEL.052-991-3111 FAX.052-981-6879
http://www.kamiiida-hp.jp/ 総合上飯田第一病院 検索

PRのページ

糖尿病教室をご存知ですか？

総合上飯田第一病院
糖尿病内科 医長 山本（やまもと） 由紀子（ゆきこ）

糖尿病は、ただ主治医が処方したお薬を飲んでいればそれだけで大丈夫、という病気ではありません。患者さん自身が糖尿病の事をよく知り、上手にお付き合いしていくことによって、合併症を防ぎ健康で長生きすることができる病気です。

糖尿病教室とは、**患者さんやそのご家族に糖尿病について正しく理解していただき、より効果的な食事療法や運動療法を含めた生活習慣を患者さん自身に実践していただくための教室**です。

当院で行っている糖尿病教室のご案内

❶糖尿病教室（外来） 有料

毎月第1金曜日 10:30〜13:30

AM

スライドを使って、医師・栄養士が糖尿病と食事療法についてわかりやすく説明し、それぞれの患者さんに合った量の糖尿病食を実際に召し上がっていただきます。ご家族の方も参加される場合はご家族の分も同じお食事をご用意いたします。

PM

理学療法士が運動療法について説明し、実際に簡単な運動を皆さまと一緒に行います。その後、看護師による足病変のチェックを行い、壊疽（えそ）の予防について説明します。

❷糖尿病バイキング教室（外来） 有料

2月・5月・8月・11月の第4木曜日（年4回） 11:30〜13:00

レストランのバイキングと同じように何種類ものお料理をご用意してあります。指示カロリーの範囲内で患者さん自身が計算しながらいろいろなお料理を選択し、実際に召し上がっていただきます。ご家族と一緒に参加も大歓迎です。

❸入院患者さん向け糖尿病教室

約２週間の入院中、毎日約１時間ずつ当院スタッフが交代で糖尿病についての詳しい講義を行います。担当スタッフは医師・看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士・検査技師・歯科衛生士で内容は大変充実しております。糖尿病以外の病気での入院でも、糖尿病を合併している患者さんであれば参加していただくことができます。

正しい知識を身につけて、上手にお付き合いすれば怖くない！

糖尿病は大変身近な病気ですが、ついつい怖がりすぎて病気そのものから目をそらしたくなったり、いろいろな情報があふれている昨今、誤った情報に惑わされることも多いものです。**一人でも多くの糖尿病患者さんが、正しい知識を身につけて、糖尿病とともに歩みながら元気で長生きできるお手伝いをしたい**と、当院糖尿病教室スタッフ一同、心より願っております。

教室でご用意する当院の糖尿病食は、なかなか美味しいとのお声をしばしばいただいております。糖尿病教室にご興味のある方は、ぜひ当院内科外来までお問い合わせください！

「糖尿病性腎症」～新規透析導入の原因の第1位～

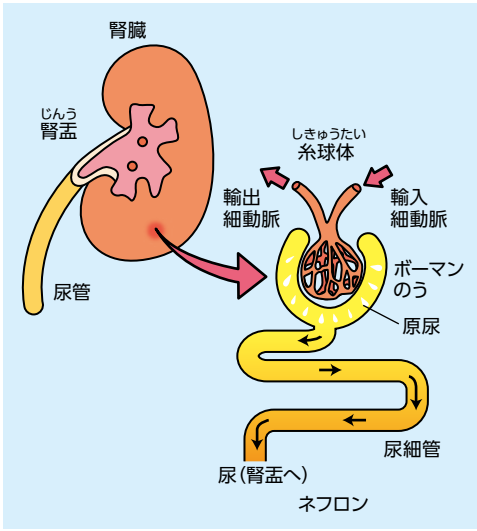
総合上飯田第一病院
腎臓内科 医員 河合 浩寿（かわい ひろひさ）

はじめに

尿は血液をろ過することによって作られますが、この働きは腎臓の糸球体（しきゅうたい）と呼ばれる毛細血管の塊（かたまり）で担われています（図1）。糖尿病で血糖コントロール不良の状態が継続すると、糸球体が障害されて糖尿病性腎症を発症してしまいます。

糖尿病が発症して約5～10年の経過で微量アルブミン尿が出現し、腎症は発症します。その後、蛋白尿が増加し、腎機能低下、末期腎不全へと進展します。糖尿病性腎症が進行して腎不全になると、血液透析や腎移植が必要になります。また、脳卒中や心筋梗塞などの心血管病などを合併しやすくなります。糖尿病性腎症は日本での新規透析導入の原因の第1位（新規導入患者全体の44.1%）となっています。

図1 腎臓の構造



自覚症状、診断、検査

糖尿病性腎症は検尿所見、腎機能と臨床経過から総合的に診断します。尿アルブミン値と腎機能（糸球体濾過値（ろかち）：GFR）により病期分類（表1）を行なって、腎症の進展度・重症度を把握します。

糖尿病性腎症は初期には無症状のことが多いです。進行すると浮腫が出現します。腎不全になると尿毒症症状（食欲不振、全身倦怠感など）がみられます。腎機能の保持や心血管病の発症抑制のために、腎症に対して早期診断・早期治療が大切です。

表1 糖尿病性腎症病期分類

病　期	尿アルブミン値(mg/gCr) あるいは 尿蛋白値(g/gCr)	GFR(eGFR) (ml/分/1.73㎡)
第1期 (腎症前期)	正常アルブミン尿（30未満）	30以上
第2期 (早期腎症期)	微量アルブミン尿（30～299）	30以上
第3期 (顕性（けんせい）腎症期)	顕性アルブミン尿（300以上） あるいは 持続的蛋白尿（0.5以上）	30以上
第4期 (腎不全期)	問わない	30未満
第5期 (透析療法期)	透析療法中	

治療

腎症の進展抑制のためには早期からの包括的治療が重要です。治療の中心は食事療法、血糖・血圧コントロールです。

生活習慣として適正体重の維持（BMI<25）、禁煙に努めて、過度のアルコール摂取を避けてください（適正な飲酒量はアルコール量として男性：20～30ml/日（日本酒1合）以下、女性：10～20ml/日以下）。

食事療法では総エネルギー量は25～30kcal/標準体重（kg）/日、腎症の進展に応じて蛋白制限を行ないます。食塩摂取量は6g/日未満とします。また、高カリウム血症があれば、カリウム制限（生野菜や果物を控える）が必要になります。

高血圧は糖尿病性腎症の進展因子となるため、血圧を130/80 mmHg未満を目標に管理することが重要です。血糖コントロールについては腎症の発症・進展を抑制するためにHbA1c 7.0%未満を目標とすることが推奨されています（2013年熊本宣言）。

診療部ニューフェイス　よろしくお願いいたします

腎臓内科 医員 久納（くのう） 美蓉子（みよこ）

【入職日】2月1日　【認定資格】日本内科学会認定内科医

メッセージ　早く慣れて少しでもお役に立てればと思いますので、いろいろ気軽に声をかけてください。

総合上飯田第一病院

第11回 市民公開講座

テーマ 「よくわかる耳の話 ～音が聞きづらい。耳鳴りがするのは何故？～」

平成27年1月24日(土)

来場者数 114名

総合上飯田第一病院
耳鼻いんこう科 医長
安江(やすえ) 穂(みのり)

今回のテーマは「よくわかる耳の話」です。音を感じる仕組みや聞きづらい原因と病気の関連、耳鳴りと耳鼻いんこう科での検査や治療、補聴器の紹介といった内容の話でした。参加者からは講演終了後も多くの質問や相談があり大変好評でした。

耳鳴りのある人は難聴になっていることが多い

聞こえにくい、耳鳴りがするなどの症状は単純なものではありませんが、急に症状が出た場合は治ることがあります。難聴は音が小さく聞こえる場合と小さくひずんで聞こえる場合があり、原因はさまざまです。聞こえにくいと思ったら、まず耳鼻いんこう科外来を受診して治療して治る病気なのか診てもらいましょう。また耳鳴りについてはさまざまな治療方法の説明の他にも、本来人間がもっている耳鳴りの悪循環を断ち切る脳の仕組みについて、大変わかりやすく説明されました。

補聴器を使って聞こえるようになる人は、検査でわかります

補聴器の適応は、何種類かの検査をして判断します。同時に補聴器の装用でどの程度聞こえが改善できるのかも予測できます。補聴器の使用を検討されている方は、まず、耳鼻いんこう科「一般外来」を受診してください。医師が診察し、判断の上、「耳鳴難聴外来」を予定します。耳鳴難聴外来では、補聴器を自宅に持ち帰り試してみたり、調節を繰り返したりします。効果が感じられたら、購入決定となります。補聴器を効果的に使用するには、本人の使い続ける意志と、周囲の人の協力が必要です。

次回予告

第12回 市民公開講座 無料

日時 平成27年5月16日(土) 13:30開場 14:00開演

会場 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

テーマ **糖尿病と言われたら**
「糖尿病！あなたの疑問に答えます」

講師 総合上飯田第一病院
糖尿病内科 医長 山本(やまもと) 由紀子(ゆきこ)

お問い合わせ・お申し込み | 総合上飯田第一病院 総合支援センター 地域医療連携室 TEL(052)991-3111

総合上飯田第一病院

第6回 青空コンサートを開催しました！

患者さんに笑顔と勇気をお届けしたいと、**緩和ケアチーム**の呼びかけで職員有志により半年ごとに開催してきた青空コンサートも3回目のクリスマスを迎えました。夏に引き続き、2部制で行いましたが、ともに会場口の外までご観覧の皆さまで溢れる大盛況でした。

バンド**「上飯田スイングガールズ&ボーイズ」**はアップテンポのラテンジャズにも挑戦、合唱団**「青空エコーズ」**は〝星に願いを〟などの名曲を披露。恒例の**ハンドベル隊**や**オカリナ**に加え、**三味線演奏**や**爆笑コント**〝雪の女王？〟で盛り上がったところで〝赤鼻のトナカイ〟を楽しい振りつけで歌って締めくくりました。プロの先生方のご指導や、音楽を愛するボランティアの方々、そして会場の皆さまの温かい拍手のおかげで、最高に華やいだひと時となりました。

おおぞね内科クリニック

診療科目　内科、糖尿病内科、内分泌内科

院長　近藤（こんどう） 紀子（のりこ）

開業の経緯

長らく糖尿病や内分泌疾患、生活習慣病の診療経験を積んできましたが、地域の皆さま方に親しまれ信頼される「かかりつけ医」をめざして平成24年6月6日開院いたしました。

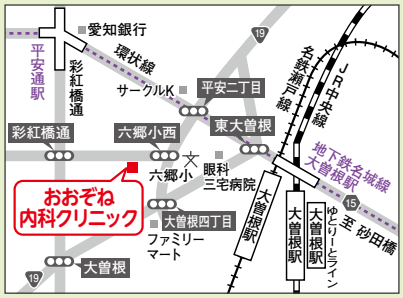
診療の傾向

2型糖尿病、脂質異常症、高血圧症、高尿酸血症などの生活習慣病の患者さんに対しては、丁寧な問診と診察、管理栄養士による栄養指導や生活指導を中心に薬だけに頼らない治療を行っています。また、1型糖尿病や妊娠糖尿病など専門的な糖尿病の診療も行っております。内分泌疾患では甲状腺疾患が多く、診察時にすぐその場で超音波検査を施行しております。

皆さまへのメッセージ

地域の皆さまが健康についての悩みなどで気軽に受診していただけるようなクリニックにしていきたいと思います。特定の病気にとらわれず患者さんに広く目を配り、必要な場合は総合上飯田第一病院などの専門の医療機関へご紹介し地域連携を進めていきます。

〒462-0825
名古屋市北区大曽根4丁目13-28
TEL(052)910-1230　FAX(052)910-1231
診療時間／午前9:00～午前12:30
　　午後4:00～午後7:00
休診日／水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



総合上飯田第一病院

第1回上飯田院内学術集会を開催

平成26年11月15日(土)に医療活動の成果などの19演題が、各部門から発表されました。

この学術集会は、各職種の「若手」に演題報告の経験を積ませることを目的として開催されました。

審査結果 第1位

「反重力トレッドミル歩行訓練の効果」

リハビリテーション科　釱持（けんもち） のぞみ

目的・方法

人工膝関節置換術後の患者さんに、反重力トレッドミルを使用した歩行訓練が身体機能、歩行能力に及ぼす影響について検討しました。対象は、当院の人工膝関節置換術後の18名から、反重力トレッドミルを行った9名を実施群、行っていない9名を非実施群としました。

▲反重力 トレッドミル

結果

実施群は非実施群に比べ、手術後7日目の膝屈曲角度が優位に高値で改善率も大きいという結果となりました。また、手術後から杖歩行獲得の日数も実施群は短縮しました。

考察

実施群は膝屈曲角度の早期回復と杖歩行自立までの日数の短縮が認められました。反重力トレッドミルを使用した歩行訓練は痛みを制御しながら歩行訓練が実施でき、荷重に伴う痛みと膝関節へのストレスが軽減できたことが考えられます。今後はさらに他職種と連携することで在院日数の短縮につながることが推察されます。

愛生会からのお知らせ 平成27年4月～6月

糖尿病教室
日時 毎月第1金曜日 10:30～13:30
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 医師・管理栄養士・理学療法士
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 内科外来
TEL(052)991-3111

糖尿病バイキング教室
日時 2月・5月・8月・11月 第4木曜日 11:30～13:00
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 医師・管理栄養士
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 内科外来
TEL(052)991-3111

母乳教室 無料
日時 毎月第1土曜日 10:00～11:30
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 助産師
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

マタニティヨーガ教室
日時 毎週火曜日 14:00～16:00
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 助産師 費用 300円
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

母親教室 無料
日時 毎月第1・第3水曜日 13:30～15:30
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 助産師
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

ファミリークラス 無料
日時 毎月第1土曜日 13:30～15:30
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
講師 助産師
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

安産教室 無料
日時 毎週金曜日 15:00～16:00
場所 総合上飯田第一病院 北館2階 産婦人科外来
講師 助産師
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

介護教室 無料
日時 14:00～15:00
4月11日(土)「乗り移り」
4月25日(土)「介護保険などの制度」
5月 9日(土)「着替え」
6月13日(土)「健康管理」
場所 上飯田リハビリテーション病院 1階会議室
講師 介護福祉士・理学療法士・作業療法士・看護師など
お問い合わせ・お申し込み
上飯田リハビリテーション病院
TEL(052)916-3681

YYサークル(育児サークル) 無料
※授乳中のママが参加していますので、パパのご参加はご遠慮ください。
日時 毎月第1・第3木曜日 14:00～15:00
場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室
対象 産後2ヶ月～1歳未満の「ママと赤ちゃん」
講師 助産師など
お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

看護師・助産師 募集中
看護学生、現職の看護師・助産師の方、病院見学随時受付中です。
お問い合わせは愛生会本部 TEL(052)914-7071 詳しくはホームページをご覧ください。http://www.aiseikai-hc.or.jp

社会医療法人 愛生会 Aiseikai Healthcare Corporation

理念 信頼され愛される病院

一、私たちは、「安心・安全の医療と介護」で地域に貢献します
一、私たちは、「地域の救急医療」に貢献します
一、私たちは、「地域と共に、人と共に」の心を大切にします

急性期

社会医療法人 愛生会
総合上飯田第一病院
●一般病棟(7対1看護配置)
●地域包括ケア病棟
名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地
TEL(052)991-3111
日本医療機能評価機構 認定第 JC839 号

診療体制

●内視鏡センター

●腎センター

●甲状腺・内分泌センター

●乳腺センター

●人工関節・関節鏡センター

●健診センター(人間ドック・各種健康診断)

回復期

社会医療法人 愛生会
上飯田リハビリテーション病院
●回復期リハビリテーション病棟
●通所リハビリテーション
名古屋市北区上飯田北町3丁目57番地
TEL(052)916-3681
日本医療機能評価機構 認定第 LL14 号

慢性期

社会医療法人 愛生会
上飯田クリニック
●人工血液透析
名古屋市北区上飯田北町1丁目76番地
TEL(052)914-3387

看護師養成

愛生会看護専門学校
名古屋市北区五反田町110番地の1
TEL(052)901-5101

介護

愛生訪問看護ステーション
名古屋市北区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL(052)991-3210

あいせいデイサービスセンター
名古屋市北区辻本通2丁目38番地
TEL(052)991-3548

愛生居宅介護支援事業所
名古屋市北区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL(052)991-3546

あいせいケアステーション
名古屋市北区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL(052)991-3152

本部

愛生会本部
名古屋市北区上飯田通2丁目37番地
TEL(052)914-7071

右記のQRコードより総合上飯田第一病院
外来担当医一覧のHPにアクセスできます
総合上飯田第一病院 検索 http://www.kamiiida-hp.jp